

柏市消防活動用空地設置基準

制定 令和 2 年 7 月 1 4 日

施行 令和 2 年 8 月 1 日

1 趣旨

この基準は、柏市開発行為事前協議等手続条例施行規則第 7 条の規定により消防施設の設置基準に関し必要な事項を定めるものとする。

2 消防活動用空地等の基準

高さ 10 m を越える建築物の建築を目的とする開発行為等を施行する事業者は、はしご付消防自動車等が当該建物に接近して消防活動を行うのに支障がないと認められる幅 6 m 以上、長さ 12 m 以上の空地及び当該空地までの進入路を確保すること。

3 設置基準

(1) 消防活動用空地に進入するための道路等は次によること。

ア 消防活動用空地までの進入路を確保すること。

イ 道路等の屈曲又は交差部には、幅員に応じた隅切りを設けること。(別図 1, 2 参照)

ウ 別図 2 の隅切りが確保できない場合、又は進入路が鋭角の場合は、図面上に車両軌跡図を記載し別途協議すること。

エ はしご付消防自動車等の進入については、2 方向からとし、運行、操作等の障害となる門、塀、電柱、電線、アーチ等の障害要員が存在しないものであること。ただし、アーチ等の障害物については、高さ 4.5 m 以上のもので消防活動に支障がない場合は、この限りではない。

オ 道路等の勾配は、縦横方向とも 5 度以下であること。

カ 道路等は，車両重量（25 t）に耐えられる構造であるとともに，道路構造令（昭和45年政令第320号）に準拠するものでマンホール，グレーチング等がないこと。ただし，マンホール，グレーチング等が必要な場合については，同等以上の地盤支持力を有する構造とすること。（別図3参照）

(2) 消防活動用空地の位置及び構造は，次によること。

ア 消防活動用空地は，幅6 m以上，長さ12 m以上であること。

イ 設置位置は，非常用の進入口及び避難上有効な各戸のベランダ，バルコニー等に面し，非常用の進入口を考慮した位置に設けることとし，消防活動上有効に活動できる位置であること。

ウ 平坦地とし，縦，横断勾配は3度以下であること。

エ 構造は，車両重量（25 t）に耐えられる構造であるとともに，道路構造令（昭和45年政令第320号）に準拠するもので，マンホール，グレーチング等がないこと。

オ 建築物との間隔（保有空地）10 m以内（消防活動用空地中心）であること。

カ 消防活動用空地に面する建築物の長さが横20 m以上となる場合は，消防活動用空地の設置数は，原則20 mごとに設置すること。ただし，進入路が幅員6 m以上，長さ12 m以上の場合については消防活動用空地とみなすことができるものとする。

キ 国道，県道，市道等を使用した消防活動用空地を設けないこと。ただし，消防活動用空地の用地が極めて困難と認められるときは，協議し，道路を活用した消防活動用空地とみなすことができるものとする。

ク 消防活動用空地及びその周辺の上空には，はしご車等の伸てい及び旋回に支障となる工作物等が設置されていないこと。

ケ 消防活動用空地には規制標識及び規制表示の表示を

設けること。ただし規制標識等が表示できないときは、ゼブラ表示とする。(別図4参照)

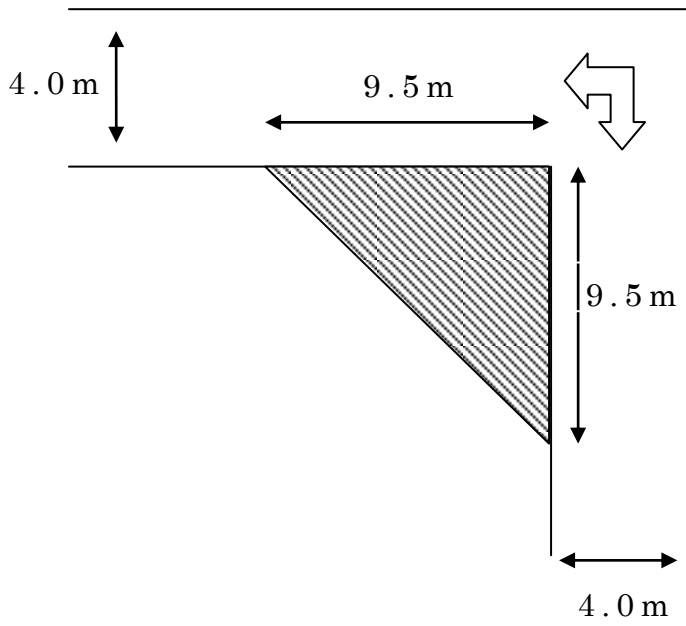
4 消防活動を行うための空地等の保有の緩和について

はしご付消防自動車の進入路を確保するため、道路の拡幅又は隅切りを行うのに際し、用地の取得が極めて困難と認められるときは、次のいずれかに該当する空地の保有の緩和措置を受けることができるものとする。

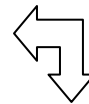
(1) 救助工作車の進入が可能で、救助工作車の部署位置から三連梯子を使用し、且つ、建築物に屋内進入が可能であること。

(2) 消防局長が消防活動上支障がないと認めた建築物

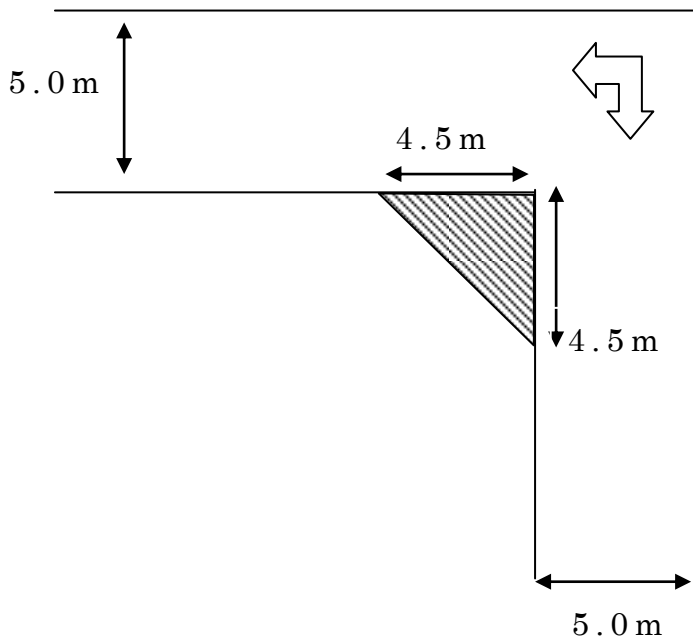
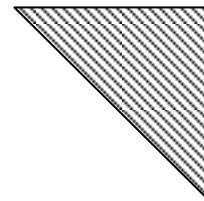
はしご付き消防自動車の進入に必要な隅切り基準例



車両進行方向

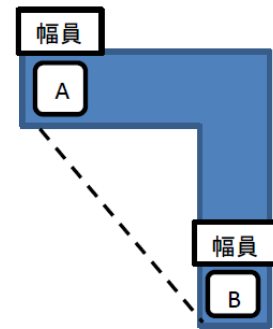


隅切りを必要とする部分

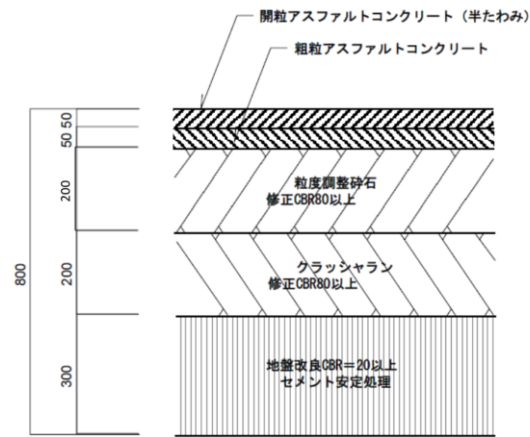
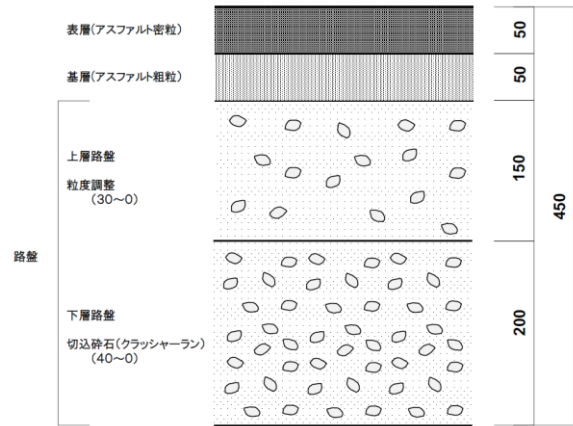


【隅切り】はしご車進入調査 早見表

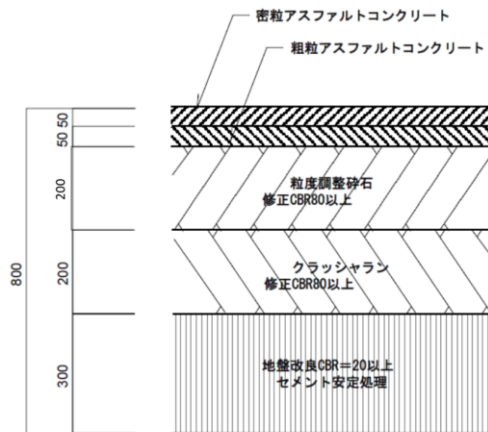
道路幅員 A×B	隅切り	道路幅員 A×B	隅切り	道路幅員 A×B	隅切り	道路幅員 A×B	隅切り
4.0×4.0	9.5×9.5	5.0×4.0	8.5×8.5	6.5×7.0	0.5×0.5	11.0×4.0	2.5×2.5
4.0×4.5	9.0×9.0	5.0×4.5	6.5×6.5	6.5×7.5	0×0	11.0×4.5	0.5×0.5
4.0×5.0	8.5×8.5	5.0×5.0	4.0×4.0	7.0×4.0	6.5×6.5	11.0×5.0	
4.0×5.5	8.0×8.0	5.0×5.5	3.5×3.5	7.0×4.5	4.5×4.5	11.5×4.0	2.0×2.0
4.0×6.0	7.5×7.5	5.0×6.0	3.0×3.0	7.0×5.0	2.0×2.0	11.5×4.5	0×0
4.0×6.5	7.0×7.0	5.0×6.5	2.5×2.5	7.0×5.5	1.5×1.5	12.0×4.0	1.5×1.5
4.0×7.0	6.5×6.5	5.0×7.0	2.0×2.0	7.0×6.0	1.0×1.0	12.0×4.5	
4.0×7.5	6.0×6.0	5.0×7.5	1.5×1.5	7.0×6.5	0.5×0.5	12.5×4.0	1.0×1.0
4.0×8.0	5.5×5.5	5.0×8.0	1.0×1.0	7.0×7.0	0×0	12.5×4.5	
4.0×8.5	5.0×5.0	5.0×8.5	0.5×0.5	7.5×4.0	6.0×6.0	13.0×4.0	0.5×0.5
4.0×9.0	4.5×4.5	5.0×9.0	0×0	7.5×4.5	4.0×4.0	13.0×4.5	
4.0×9.5	4.0×4.0	5.5×4.0	8.0×8.0	7.5×5.0	1.5×1.5		
4.0×10.0	3.5×3.5	5.5×4.5	6.0×6.0	7.5×5.5	1.0×1.0		
4.0×10.5	3.0×3.0	5.5×5.0	3.5×3.5	7.5×6.0	0.5×0.5		
4.0×11.0	2.5×2.5	5.5×5.5	3.0×3.0	7.5×6.5	0×0		
4.0×11.5	2.0×2.0	5.5×6.0	2.5×2.5	8.0×4.0	5.5×5.5		
4.0×12.0	1.5×1.5	5.5×6.5	2.0×2.0	8.0×4.5	3.5×3.5		
4.0×12.5	1.0×1.0	5.5×7.0	1.5×1.5	8.0×5.0	1.0×1.0		
4.0×13.0	0.5×0.5	5.5×7.5	1.0×1.0	8.0×5.5	0.5×0.5		
4.0×13.5	0×0	5.5×8.0	0.5×0.5	8.0×6.0	0×0		
4.5×4.0	9.0×9.0	5.5×8.5	0×0	8.5×4.0	5.0×5.0		
4.5×4.5	7.0×7.0	6.0×4.0	7.5×7.5	8.5×4.5	3.0×3.0		
4.5×5.0	6.5×6.5	6.0×4.5	5.5×5.5	8.5×5.0	0.5×0.5		
4.5×5.5	6.0×6.0	6.0×5.0	3.0×3.0	8.5×5.5	0×0		
4.5×6.0	5.5×5.5	6.0×5.5	2.5×2.5	9.0×4.0	4.5×4.5		
4.5×6.5	5.0×5.0	6.0×6.0	2.0×2.0	9.0×4.5	2.5×2.5		
4.5×7.0	4.5×4.5	6.0×6.5	1.5×1.5	9.0×5.0	0×0	勾配	
4.5×7.5	4.0×4.0	6.0×7.0	1.0×1.0	9.5×4.0	4.0×4.0	5.0%	2.8°
4.5×8.0	3.5×3.5	6.0×7.5	0.5×0.5	9.5×4.5	2.0×2.0	5.2%	3.0°
4.5×8.5	3.0×3.0	6.0×8.0	0×0	9.5×5.0		6.0%	3.4°
4.5×9.0	2.5×2.5	6.5×4.0	7.0×7.0	10.0×4.0	3.5×3.5	7.0%	4.0°
4.5×9.5	2.0×2.0	6.5×4.5	5.0×5.0	10.0×4.5	1.5×1.5	8.0%	4.5°
4.5×10.0	1.5×1.5	6.5×5.0	2.5×2.5	10.0×5.0		8.7%	5.0°
4.5×10.5	1.0×1.0	6.5×5.5	2.0×2.0	10.5×4.0	3.0×3.0	10.0%	5.7°
4.5×11.0	0.5×0.5	6.5×6.0	1.5×1.5	10.5×4.5	1.0×1.0	10.5%	6.0°
4.5×11.5	0×0	6.5×6.5	1.0×1.0	10.5×5.0		11.0%	6.3°
						12.0%	6.8°



耐圧 25 トン 仕様図例

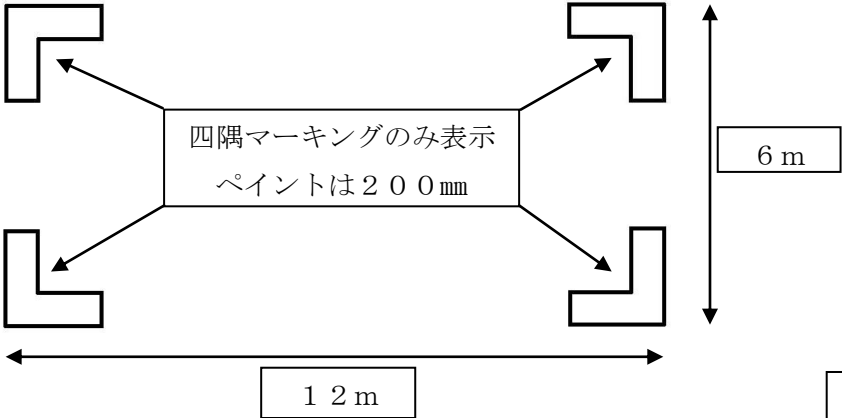


アスファルト重舗装-1 (半たわみ塗装)



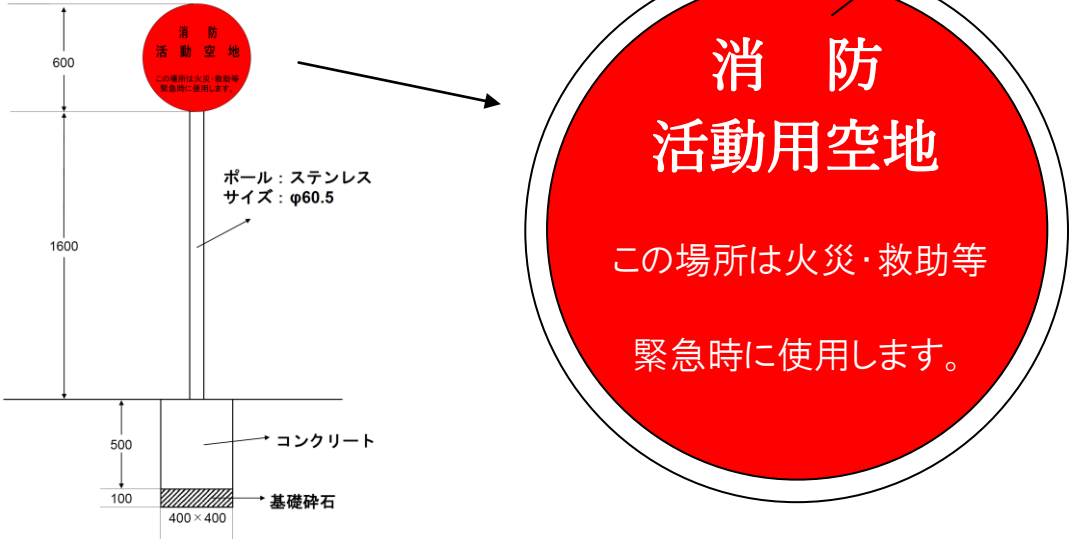
アスファルト重舗装-2

消防活動用空地路面標示



赤
文字は白字

消防活動用空地の標識



標識が設置できない場合
消防活動用空地を白等のゼブラゾーンとする

